

歴史ある郷土の新聞

信州民報

2007年(平成19年) 7月20日 (金曜日・赤口)

発行所 信州民報 発行者 若林 邦彦 日 刊 日祝日の翌日及び
第4日曜日 休刊
〒386 長野県上田市秋和問屋505 TEL 0268-22-7355 購読料 1ヵ月1,000円(送料別)
-0041 FAX 0268-22-6866 振替口座 00550-2-14293

信州民報紙デジタル化

上田市立図書館 15年間分完成

DVD貸し出し検討中

上田市立図書館は、同館が保存する本紙「信州民報」のマイクロフィルム化とデジタル化を開始。このほど昭和20年の創刊号から昭和35年(3670号)までの15年間分が完成した。経年で新聞紙が劣化、特に本紙の創刊が終戦

直後のため紙質も悪く、保存用としてマイクロフィルム化を検討。保存されている本紙は製本されているため、あ

で紙面が隅まで読め、画面を見ながら拡大縮小、印刷することができ。閲覧は無料、印刷は1枚10円(A3)。

館では「歴史の調査研究は地元の方

調べやすいからと、信州民報の引き合いが多いので」と、デジタル化の理由を話す。



印刷された信州民報創刊号を手に、マイクロフィルムを見る図書館の池田主査

らく、コピーに写らないなどの難点があった。マイクロ

保存している新聞書籍のデジタル化は同館で初。15年間分がDVD3枚に収録された。デジタル化されたことによりパソコンで簡単に閲覧、文字による検索が可能になり、必要なデータがすぐ取り出せるようになった。同

「館内のパソコンは制限規制がかかっているため、専用のパソコンとプリンターを早急に用意して、デジタル化されたデータがすぐ利用できるよう、さらなるサービスの向上につとめたい」と話している。



15年間分がDVD3枚に

本紙の昭和35年以降のデジタル化も順次進める。またDVDの貸し出しも検討中で、情報ライブラリーなどにも置く予定。

(※上記資料は、信州民報 2007年7月20日分より、一部分抽出したものです。)